

第47回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和6年6月24日（月）

14：00～16：00

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（田中課長）

- ・定刻となりましたので、ただいまから「第47回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、防災交通課 課長の田中孝往と申します。よろしくお願い致します。
- ・欠席・代理出席のご報告をさせていただきます。欠席者につきまして、名簿4番富貴地区区長会会長の植田委員、7番武豊町商工会会長の橋詰委員、18番の愛知県半田警察署交通課課長の平岡委員から所用のため欠席のご連絡をいただいております。また、代理出席者ですが、委任状により、10番愛知運輸支局の宮川委員から渥美様、11番知多乗合株式会社取締役社長の金森委員から橋本様、15番愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事桑山委員から平井様、16番愛知県都市・交通局交通対策課担当課長石屋委員から森本様、17番愛知県知多建設事務所維持管理課課長伴野委員から若山様に代理出席をいただいておりますので、ご報告させていただきます。また、本日の出席者数は17名です。会議規約の第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席をいただいておりますので、本日の開催要件を満たしております。
- ・あわせて、本日の傍聴人は0名です。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。

1. 委嘱状交付

○司会（田中課長）

- ・新しく委員になられました3名の委員のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でお立ちください。
名簿の9番 大同大学建築学部都市空間インフラ専攻 教授 嶋田喜昭（しまだよしあき）様
17番 愛知県知多建設事務所維持管理課 課長 伴野誠司（ばんのせいじ）様
18番 愛知県半田警察署交通課 課長 平岡友幸（ひらおかともゆき）様（欠席）
- ・委任状を交付させていただきます。

○司会（田中課長）

- ・続きまして、次第の「2. 会長あいさつ」です。靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・本日はご多忙のところ、第47回武豊町地域公共交通会議に出席いただきまして、ありがとうございます。委員の皆様には、日頃からそれぞれのお立場で町行政及び公共交通事業に対しまして、ご支援ご協力を賜っていることに、この場をお借りしまして、改めてお礼を申し上げる次第でございます。

- ・コミュニティバスにつきましては、2011 年に試行運行を開始してから 14 年が経過し、地域住民ニーズも変化をしてきていることを実感しております。住民ニーズにも応えながら適切な運行を目指したいと思っております。
- ・はじめに、コミュニティバスの利用者数についてです。おかげをもって順調に増加をしており、直近一年間の利用者数は、月平均で 7,500 人を超えておりまして、8,000 人を超える月も見受けられるようになっております。
- ・今年度はバスロケーションシステムや交通系 IC カード対応車載器の導入も予定をいたしております。今後も多くの方々にご利用いただけるよう、各種ニーズを的確に捉えながら、利用効率を高めるべく前向きに取り組んで参りたいと思っております。
- ・またご要望いただいております、町内における常滑市のコミュニティバス「グリーン」の停留所設置についてであります。昨年 12 月と今年 3 月の会議でも進捗のご報告をさせていただいておりますが、武豊町内の新たな停留所設置に向けて調整を進め、供用開始の目途が立ってまいりました。詳細につきましては、後ほど担当からご説明をさせていただきます。
- ・本日は報告事項 5 件、議案 1 件を予定しております。委員の皆様からは、忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いを申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

3. 役員の選出

○司会（田中課長）

- ・会議規約の第 5 条第 3 項において、副会長及び座長並びに監事は会長が指名することとなっておりますので、会長よろしくお願い致します。

○初山会長 武豊町長

- ・会長からの指名ということですので、副会長、座長、監事を指名させていただきます。
- ・副会長を名簿の 20 番 武豊町 近藤千秋副町長に、座長を名簿 9 番 大同大学 嶋田喜昭教授に、監事を名簿の 5 番 武豊町社会福祉協議会 中川美知夫会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

○司会（田中課長）

- ・それでは次に入らせていただく前に、嶋田座長に就任のご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願い致します。

○嶋田座長

- ・座長を仰せつかりました、大同大学の嶋田と申します。ご指名いただきましたので微力ではございますが、一生懸命務めさせていただきます。
- ・昨年度までは伊豆原先生が座長をされておりまして、それを引き継ぐ形になりましたけども、伊豆原先生のように取り回しはあまりうまくはないかと思いますが、一生懸命務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。
- ・また、常滑市の座長もしておりまして、隣同士ということで、連携しながら地域公共交通計画を立てていければと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

○司会（田中課長）

- ・ありがとうございました。それでは、会議規約第5条第5項に座長は交通会議の議長になるとありますので、これより会議の進行を嶋田座長にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

4. 愛知運輸支局より

○嶋田座長

- ・それでは、次第のとおり進めさせていただきます。
- ・「4. 愛知運輸支局より」ということで、本日代理ですが、愛知運輸支局の渥美様より説明いただきます。よろしくお願い致します。

○渥美代理 愛知運輸支局

- ・資料の説明

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。
- ・特に無いようですので、次に進みます。

5. 報告事項および議案

（報告事項）

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について…資料1～4

○嶋田座長

- ・それでは、報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ただいま、地域公共交通の利用実績について報告がありました。ご意見、ご質問等ありますか。
- ・資料1の利用実績について、月に8,000人を超える利用者数を記録しているが、コロナ禍以前、令和元年以前はどのような状況だったか。

○事務局（岩川）

- ・紙面の都合で掲載できておりませんが、コロナ禍以前の月利用者数は多くても7,000人に満たない程度でした。コロナ禍は、資料に記載しておりますが、3,000人台まで減少しておりました。

○嶋田座長

- ・コロナ禍以前の水準以上になり、過去最高の状況になっている。
- ・資料4について、無料乗車券については対象者に配布するものなのか。

○事務局（岩川）

- ・申請された方に対して交付します。皆さんが持っているわけではなく、70 歳以上の方もしくは 65 歳以上の免許返納者で交付申請された方の人数になっております。

○嶋田座長

- ・どのくらいの割合となるか。

○事務局（岩川）

- ・人口比ですと、70 歳以上は人口が約 9000 人で、延べ人数ですが交付申請者数が 2,488 人です。20%以上の方には交付しているという状況です。

○嶋田座長

- ・今まで約 2,500 人へ交付してきた。延べ人数なので亡くなられた方も含まれているかと思うが、少なくとも 2,000 人ぐらいは今もお持ちかと思う。
- ・交付された方は必ず使われているか。

○事務局（岩川）

- ・窓口でお話する中で、まだ車を運転しているが、今後のために事前に持っておくという方もいらっしゃる。まだ利用されていない方も一部います。

○嶋田座長

- ・状況が分かりました。他にいかがでしょうか。
- ・特にご意見等ありませんので、次に進めさせていただきます。

●報告事項2 令和5年度武豊町地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について…資料 5-1 ~5-3

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項2の「令和5年度武豊町地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・監査報告について、令和5年度の監事であり、青木委員より監査結果の報告をお願い致します。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・資料5-3、令和5年度武豊町地域公共交通会議 決算報告にありますとおり、去る5月31日、役場防災交通課にて関係書類に基づき監査を行った結果、適正に処理されておりましたので、ここにご報告致します。

○嶋田座長

- ・ありがとうございました。ご意見、ご質問等ありますか。
- ・資料５－３、歳出の事業費にある抗菌・抗ウイルスコーティング施工費は、具体的にはどういったものか。

○事務局（岩川）

- ・人体に害の無い、液体の薬品を車内のシート等に噴射して抗菌・抗ウイルスのコーティングをしたものです。

○嶋田座長

- ・毎年実施しているのか。

○事務局（岩川）

- ・効果は３～５年ほど持続するという事で、令和２年度に実施していますので、再度、令和５年度に実施しました。

○嶋田座長

- ・他にいかがでしょうか。

○北島委員 長尾部部長

- ・コミュニティバスの車体に広告があるが、広告料はどうなっているか。

○事務局（田中課長）

- ・町の一般会計の歳入となっています。

○嶋田座長

- ・いくらぐらいか。わかる範囲で結構です。

○事務局（池田総務部長）

- ・手元に資料がありませんので金額はわかりかねますが、広告の場所、大きさにより料金は異なります。

○嶋田座長

- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●報告事項３ 令和４・５年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について・・・資料６

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項３の「令和４・５年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。
- ・接続タクシー制度の見直しということで、具体的にどのようなことをされたのでしょうか。

○事務局（岩川）

- ・制度の見直しについては、令和4年10月に変更しました。以前は、接続タクシー停留所を設置し、決められたバス停留所と結ぶ形で運行していましたが、ワークショップなどで、タクシーの強みであるドア to ドアを生かし、自宅までタクシーが来られないかというご意見もいただきましたので、自宅から最寄りのバス停留所を結ぶ形での運行に制度を見直しました。

○嶋田座長

- ・接続タクシーの停留所は現在無くて、自宅までタクシーが迎えに来るようになったという理解でよいか。

○事務局（岩川）

- ・おっしゃるとおりです。

○嶋田座長

- ・愛知運輸支局の渥美様、何か補足等ありますか。

○渥美代理 愛知運輸支局

- ・この二次評価については、この会議で一次評価をしていただき、その評価を受けて第三者評価委員会を開催し、二次評価をしている。今回、地域内フィーダー系統が評価対象事業となっているが、地域公共交通計画等でも上手く PDCA を回し、より良いものにしていただければと思う。

○嶋田座長

- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●報告事項4 町内における常滑市コミュニティバス「グリーン」停留所設置について・・・資料7

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項4の「町内における常滑市コミュニティバス「グリーン」停留所設置について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。

○平井代理 愛知県交通運輸産業労働組合協議会

- ・グリーンは道路上に停留所を設置、ゆめころん青ルートは引き続き武豊中央公園内というところか。

○事務局（岩川）

- ・ゆめころん青ルートについては現状のとおりで運行していただきたいと思っております。

○平井代理 愛知県交通運輸産業労働組合協議会

- ・合計3つのバス停になるという事ですね。わかりました。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・停留所位置はわかりました。周知も7月中旬頃からホームページ等で実施していくことはわかりましたが、運行に関して1日何便程度の運行でしょうか。

○嶋田座長

- ・グリーンの時刻表は委員の皆さんお持ちではないか。

○事務局（岩川）

- ・本日はお配りしておりません。（後程配布）
- ・常滑駅発ですが、始発は知多武豊駅に7時30分に到着、最終便は知多武豊駅に19時45分に到着で、1日8便となっております。
- ・知多武豊駅発は、始発は8時20分に出発、最終便は19時50分に出発で、1日7便となっております。

○嶋田座長

- ・グリーンは今のところ無料で運行されています。
- ・バス停について、確認ですが、警察や道路管理者とは確認済みということではなかったですか。

○事務局（坂野課長補佐）

- ・協議済みです。

○北島委員 長尾部部長

- ・停留所に赤ルート、青ルートともに座れるようにベンチがあるが、セットで設置しているのか。

○事務局（岩川）

- ・ベンチについては、住民団体である生活の足を考える会に作成いただき、町が設置しています。歩道の幅員が狭いところにはベンチが置けないため、バス停留所とベンチをセットで設置できているわけではありません。

○北島委員 長尾部部長

- ・利用者は高齢の方が多いので、置けるように検討をして欲しい。

○事務局（岩川）

- ・出来る限り停留所にベンチを設置できるようにしていきたいと思います。

○嶋田座長

- ・設置できるように検討していただければと思う。
- ・ちなみに、写真があると良かったが、停留所はどのような形をしているか。

○事務局（岩川）

- ・ゆめころん停留所と異なり、上部に丸い看板が付いています。知多乗合さんのバス停と同じ形状のものです。

○嶋田座長

- ・今後の手続きは、道路占用申請、周知としてホームページ、広報たけとよ 8 月号掲載となります。
- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●報告事項5 住民アンケート調査計画(案)について…資料8

○嶋田座長

- ・続きまして、報告事項5の「住民アンケート調査計画（案）について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・確認というかお願いになるが、アンケートで事業費用は妥当ですかという質問がある。妥当かどうかを判断することは難しい。利用されていない人が答えることが多い中で、利用されていない人たちが答えると、今が妥当として、税金投入を抑制される回答が多くなると思う。必然的に妥当の答えに誘導されることになってしまうのではないかと。妥当かどうか判断できるものを示して欲しい。交通の事業費の目安ができるとよい。参考になるかはちょっとわからないが、通学するための費用負担と比較するとか、他市町の予算との比較も参考になるのではないと思う。
- ・アンケート結果がどうなるかによって、これからが変わる。現在の予算が妥当となっているが、もう少し工夫してできないかと思う。今の予算では身動きが取れない。もう少し予算を増やして欲しいが、アンケート結果で今が妥当となると予算を増やせないなので、アンケートの取り方を考えて欲しい。

○嶋田座長

- ・貴重なご意見だと思う。事務局はどう考えるか。

○事務局（総務部長）

- ・貴重なご意見ありがとうございます。
- ・確かに櫻場委員がおっしゃられるように、コミュニティバスにどれだけの費用をかけるかといった判断するものは難しいというのが現状です。このアンケートを作るために作成した訳ではないですが、町がどのような財政を運用しているかという広報の記事を抜粋して記載しています。出来る限り町民の皆様に、町の財政がわかりやすいよう、少しでも判断材料としていただけるように、身近なものを提示することによって、実際にコミュニティバスにかかっている費用と見比べていただきたいというのが現状です。
- ・わかりやすいかということ、なかなか難しいかと思いますが、町としては一応そういったことも考えまして、基礎資料を提供させていただいているという状況です。

○近藤副会長 武豊町副町長

- ・櫻場委員がおっしゃった比較検討は必要だと思っております。私たちがアンケートを確認した際も同じ話が出ておりまして、アンケートの中で、年齢や免許を持っているかという項目もありますので、そういった対象ごとのクロス集計と言いますか、それを出させていただきまして、今後の計画づくりの参考にしていきたいと思っております。

○嶋田座長

- ・櫻場委員いかがでしょうか。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会

- ・私もこれが良いというものを持っていないが、できるだけ予算を増やす方向のアンケート結果になると良いなと思っている。

○嶋田座長

- ・他の市町村に比べるとまだまだ予算が少ないといったような比較をすることが出来るようにできかね。

○森川委員 安全タクシー株式会社代表取締役

- ・タクシーの今の状況をお話しさせていただきたい。まず、肝心のドライバー数だが、弊社の話となるが、過去 82 名のドライバーがいた。コロナ禍では 62 名にまで減少したが、直近は 79 名という事で、ドライバー数で言えばほぼコロナ前に戻っている。また、ドライバーの年齢構成は、コロナ前は平均年齢 62.8 歳と高齢であったが、直近では、30～50 代前半の方が入社し、平均年齢 58 歳まで下がってきている。安全タクシーは 60 台車両を持っており、いわゆるタクシーは 55 台で運行しているが、現状はほぼ車が出ているという状況になっている。そのような中で、接続タクシーの実績が上がらない。ドア to ドアの特性を生かし、利用範囲の拡大をしていただいたが、なかなか利用が伸びていない。通常のタクシーの利用状況はどうなのかというと、直近 5 月分の実績は 2 年前と比べ、弊社の武豊町内の電話やアプリで呼んでいただいている利用、もしくは駅の待機所からの利用回数はだいたい倍になっており、

年内に入ってからタクシーの利用は対前年比 130%～150%で推移している。接続タクシーを使わない層が動き出したということもあるかもしれないが、ドライバー数や供給数、タクシーの利用も増えているので、接続タクシーの在り方について、もう少し協議が必要なのではないかと思っている。

○嶋田座長

- ・アンケートでいうとどの部分に対してか。

○森川委員 安全タクシー株式会社代表取締役

- ・問 7－3 でバスや接続タクシーに関する年間費用の負担額をあわせて聞いているが、例えばコミュニティバスと接続タクシーの年間費用の負担感を別々に聞いていただくなどできないか。

○事務局（田中課長）

- ・本日のアンケートの案は委員の皆様に見ていただき、様々なご意見をいただきながら、事務局で再度検討・修正します。アンケートについては、修正等の確認について、事務局、座長に一任していただくことで実施していくことを考えておりますのでお願い致します。

○嶋田座長

- ・委員の皆様から何かありましたら、この場で発言頂ければと思いますがいかがでしょうか。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・語句のミスがある。
- ・6 頁の問 3、選択肢 7 ほとんど行かないの括弧書き、「7 頁の問 3 へ」となっているが、7 頁に問 3 は無い。「8 頁の問 3 へ」の間違いである。
- ・10 頁の問 6－1（3）1 番下の選択肢 9、「観光面＝来訪者にとって」となっているが、「観光面＝来訪者にとって」が正しい。「に」が抜けているので修正を。

○事務局（岩川）

- ・修正いたします。ご指摘ありがとうございます。

○嶋田座長

- ・令和元年度のアンケートを踏襲して作成しているが、前のアンケートから新しく設けたところはあるか。費用負担は前回も設問であったかと思うが。

○事務局（岩川）

- ・問 7－2 にありますデジタル化などは年々変化している点でもありますので、前回から変更しております。

○嶋田座長

- ・過去にはあまり MaaS といった言葉も使われていなかった。自動運転というのも最近の話になるかと思う。

- ・他はだいたい同じような内容になっているということで良いか。

○事務局（岩川）

- ・他にですと、問7－4の税金負担で、選択肢に「3台目の車両」という言葉を入れて、3台目の車両を投入することについてどうか、意識的に聞きしています。

○嶋田座長

- ・唐突に3台目について聞いているが、住民の方は意味がわかるか。何か補足が必要ではないか。

○事務局（岩川）

- ・再度見直しをさせていただきます。

○嶋田座長

- ・今日は委員の皆様からご意見をいただきまして、事務局で検討しますので、どうぞ忌憚のないご意見あればと思いますが、いかがでしょうか。

○橋本代理 知多乗合株式会社

- ・アンケートについては、現状が良いのか悪いのか、悪いのであればどういった事に不満があるのかをお聞きしているということでお見受けした。
- ・知多半島だけではなく、色々な地域でバスでもタクシーでも電車でも無い乗りものが実証段階だが、走り始めている。もしかすると町民の方もそのようなことを考えていて、新しい意見がもらえるかもしれない。無理なこともあるかもしれないが、お客さんのニーズは多様化している。昔ながらのやり方では、今後は立ち行かないことも実感させられている。環境の変化もあって、我々が事業をやる中でも感じている。アンケートは色々なご意見を聞くわけなので、現状に対していいのか悪いのかでは無く、自由記述の欄に書かれる方もいるかと思いますが、さらにその先の意見を引き出すような工夫をされてはいかがかと思う。

○嶋田座長

- ・アンケートに目的地や手段などのニーズ、どこに行きたいかを尋ねる質問は無かったか。

○事務局（岩川）

- ・どこに行っていますかなど、現状についての設問はあります。

○嶋田座長

- ・例えば、橋本代理がおっしゃったようなことを自由意見に載せられるか。あまり記述式は良くないというか、書いてくれない。私たちも研究でよくアンケートをするが、基本的には○を付けるという形が良い。設問を用意できるか。

○事務局（田中課長）

- ・今すぐにこのような形でということはなかなかお答えできかねますが、研究と言いますか、わかりやすいアンケートになるように考えて参ります。

○嶋田座長

- ・もちろん過去のアンケートと比較するために同じアンケートを用意することも結構かと思うが、もう1歩先に進むためにはそういったニーズ的なものを考えていただけると有り難い。
- ・この件、色々ご意見をいただきました。私も検討に加わらせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・他に特に無ければこの件も承認いただいたとします。

(議 案)

●議案第1号 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業計画(案)について……資料9

○嶋田座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「令和7年度地域公共交通確保維持改善事業計画(案)について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・国へ申請する書類になります。愛知運輸支局から何か補足がありますか。

○渥美代理 愛知運輸支局

- ・地域公共交通計画に位置付けられている路線、武豊町の場合、赤ルートと青ルートについては、支援が必要という事で国としても支援をしている。令和7年度、令和6年10月から令和7年9月の運行分に対し、先に計画の認定を受けてから補助金の交付申請をするという事で、今回協議をいただいているという事になる。

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。
- ・形式な事でもありますので、基本的には事務局にお任せとしたい。
- ・審議事項であるので、採決を取らせていただきたい。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

<拍手>

○嶋田座長

- ・ありがとうございます。拍手多数でしたので承認とさせていただきます。
- ・今後、簡易的な修正が出てきた場合につきましては、事務局にて対応し、会長と座長に一任としてよろしいでしょうか。

<異議なし>

- ・では、これで報告事項と議案が終わりとなりますので、次に進みたいと思います。

6. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○嶋田座長

- ・それでは、次第の6. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場委員よりご報告をお願い致します。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・令和6年度も従来通りの活動となる。コミュニティバスの利用者数は8,000人を超え、伸びているが、利用している人は限定されていると思うので、もう少し利用者を増やしたい。バスは移動手段として活用するのがメインだが、それに限らず遊びとしても使って欲しい。珍しい場所など、武豊町にはこのようなスポットもあるという事を利用者に紹介して見に行ってもらえるような活動をしたい。なかなかスポットが集まらないが、発信していきたいと思っている。
- ・毎年実施しているが、今年も産業まつりに出展し、コミュニティバス等に対する知名度や利用方法についてのアンケートを実施する。
- ・思い付きだが、お年寄りが移動したくなるような制度を考えたい。移動にかかる費用を無料にする。ランクを付けて、70代はシルバーカードの支給で現状通り、コミュニティバスを無料とする。80代はゴールドカードを支給し、タクシー料金を半額にする。バスだけの移動では不便なので、移動を容易くしてもらおう。高齢になるとバスよりタクシーの方が使いやすい。90代はプラチナカードを支給し、宿泊代も移動費用も無料とする。高齢者と一緒に家族も行くので、その点、経済効果に繋がるのではないかと思う。高齢者が多いが、外に出て行く動機付けになる。色々なことを考えながら活動していきたいと考えている。

○嶋田座長

- ・ありがとうございます。高齢者が外出することで健康寿命が延びて、医療費が削減されるという事が学会等でも紹介されている。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・シミュレーションでは年間600万円くらい。タクシーのゴールドカードくらいはできないか。毎月10人ほどの人が町内に限る移動に限定し、年間180万円くらいになる。プラチナカードは、宿泊費で4万、移動費で4万の合計8万円。だからと言って、皆が使うわけではなく、月に1人いるかいらないかだと思っている。

○初山会長 武豊町長

- ・高齢者の外出を促す仕組みづくりをしていく必要性を感じた。色々な施策の案をいただいているが、財政的な問題もありますので総合的に判断したい。足や膝が痛くて外に出られない、補助金があるからと言ってすぐに外に出られるわけではないなど、様々なケースがある。やるとなれば真剣にどのような条件を足していくかを考えなければならないと考える。
- ・スポットの話があった。前回もお話したかと思うが、武豊町で1番大きい警固山を整備した。富貴市場の方では、新聞でも紹介されたことがあると思うが、藤棚もある。また、国道247号線沿いに立派な松の木があるお宅がある。あまり人が来すぎても混乱を招いてしまう

かと思うが、スポットが集まりづらいという事だったので、ふと思い浮かんだので紹介させていただく。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・資料6の裏面、地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の期待する取組の記述について。安全タクシー森川委員からも、運転手やタクシー利用が戻ってきたという話があった。接続タクシーに関して、今は利用が自宅から最寄りの停留所までだが、赤ルート、青ルートがある中で、実際に利用したいのは自宅から最寄りのルートではない方のルートということがあると思う。そういった場合、利用すると時間もかなりかかる。
- ・接続タクシーを利用してもらいたい、利用を増やしたいという観点から言えば、利用したいルートの自宅から1番近い停留所までにしてもらえれば、最短で利用できると思う。アンケートでも接続タクシーのサービス強化、3台目の車両投入について記載があるが、コミュニティバスの利用を増やすために現段階で早く実行できそうなことは、接続タクシーのサービス強化になるかと思う。
- ・タクシー事業者さんの協力が必要となるが、接続タクシー制度の変更はどこの会議で決めなければならないのか。

○事務局（田中課長）

- ・この地域公共交通会議で議論していただきます。今回のアンケートの結果も確認しながら制度について検討を進められればと思います。

○青木委員 武豊町議会議長

- ・今日の場合とは思わないが、よく聞くのが家の近くに停留所があるが、利用したいルートと反対である。なおかつ、前回ルート改編した際に反対回りになったので、時間がかかるようになってしまったという声もある。そのあたりは、3台目の車両投入の検討にも繋がってくると思うが、利用者を増やしたいのであれば、接続タクシーを自宅から利用したいルートの1番近い停留所まで利用できるようにしてもらおうと良いのかと思う。

○嶋田座長

- ・今のコミュニティバスは一方向のため時間がかかるということです。今後のダイヤ、ルートのご意見として承りたいと思います。

○平井代理 愛知県交通運輸産業労働組合協議会

- ・労働組合幹事の代理で出席しているが、ゆめころんにも乗務している。利用者からも行きは10分、帰りは50分かかるといふご意見もある。補足とさせていただく。

○嶋田座長

- ・次回のルート、ダイヤの際には検討させていただくことにしたいと思う。
- ・他にいかがでしょうか。

○櫻場委員 武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会代表

- ・接続タクシーについて、行きたい停留所を指定できれば利用が増えると思う。ただ、タクシーの利用は増えるが、目的地になってしまう。バスには乗らないことになるが、移動手段としては良いかと思うものの、予算は跳ね上がる。

○嶋田座長

- ・そうすると接続タクシーという概念ではなくなってしまうので、そこから検討することになる。今後のご意見として承っておきたいと思う。

○北島委員 長尾部部長

- ・先ほど行きが 10 分、帰りが 50 分という発言があったが、帰りの 50 分が 10 分で帰れるようにそこをタクシー会社さんに頼むとか、そのような制度を考えてはどうか。

○嶋田座長

- ・こちららも今後のご意見として承っておきたいと思います。

○橋本代理 知多乗合株式会社

- ・バス事業を実施している中で、ある便の乗降調査を確認すると、上りの便と下りの便で利用者数が全然違う。ルート、ダイヤが異なる路線バスやコミュニティバスを利用の方が上手く選りながら乗られているという事が確認できる。我々から見ても器用な使い方をされている方が居る。そういった使い方ができる、他にも足になる乗り物はあるという事を皆さんに上手にお知らせができれば良いのではないかと思います。
- ・知多乗合では、29 年ぶりに運賃を変更する。消費税の増税に伴う変更はしていたが、本格的な運賃改定を久々にするため、ご理解をいただきたい。初乗りだと現在 170 円だが、それを 190 円とする。
- ・また、東海営業所と半田営業所の 2 つの営業所を持っている。東海営業所では、IC カードに対応しているが、半田営業所も今年度中には IC カードを利用できるように進めている。ゆめころんも IC カードが使えるようになると、青山駅では、我々の路線バス、半田市のごんくる、当然名鉄電車も来るのでより便利になるかと思う。将来的には電子チケットのエリアパスの導入など提案しながら、公共交通の分担率の引き上げ、裾野を広げられると良いと思うので、皆さんにもご相談していきたいと思っている。知多乗合も色々と準備を進めているので、この場をお借りしてお知らせをさせていただく。

○嶋田座長

- ・他にいかがでしょうか。特に無いようなので、次に進みたいと思います。

●開催通知文等の電子データ送付について

○嶋田座長

- ・次に「開催通知文等の電子データ送付について」事務局より説明をお願いします。

○事務局（坂野課長補佐）

- ・資料説明

○嶋田座長

- ・ご意見、ご質問等ありますか。全体を通してのご発言でも構いません。

○平井代理 愛知県交通運輸産業労働組合協議会

- ・その他の事項として、乗務している中で対応をお願いしたい点を発言させていただく。
- ・危険箇所について、赤ルート、郵便局からＪＲ武豊駅に右折する際、みゆき通りから来る車が見にくい。安全運転を心がけているが、スピードを出してくる車もいるので、ヒヤッとするタイミングがある。出来ればカーブミラーの設置をお願いしたい。また、青ルートの場合だと、市原農村広場北停留所から嶋田停留所に向かう際、ガード下を右折するが、総合体育館の方から一時停止をせず突っ込んできた車両を避けようとミラーが接触したことがある。
- ・特に赤ルートは、時間帯によって立席が出る時間帯もあり、やむを得ず急ブレーキをかけた場合、お年寄りだと若者に比べて転倒やケガのリスクが高い。安全面への配慮は必要かと思うので検討していただけるとありがたい。

○事務局（田中課長）

- ・また現場の確認をさせていただく。

○嶋田座長

- ・ぜひよろしくをお願いします。
- ・他にご意見、ご質問等ありますか。
- ・無ければ本日全ての事項について終わりました。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

7. 閉 会

○司会（田中課長）

- ・座長、議事進行ありがとうございました。
- ・本日の皆様からのご意見等を参考にさせていただき、皆様にご承認いただいたということで事務局の方は事務を進めて参りたいと思います。
- ・それでは、閉会にあたりまして、会長よりご挨拶を申し上げます。

○会長：靱山町長

- ・長時間にわたりありがとうございました。各般にわたって建設的なご提言等々賜りまして、検討すべきは積極的に、前向きに検討させていただきたいと思っている。
- ・空飛ぶ車も時間の問題だと思っている。世界は５年で大きく変化するだろうと思っている。環境の変化に対して今何が出来るかを考えていかなければならない。
- ・カーブミラーの設置要請や運賃改定の情報提供も賜った。議長からは、行きと帰りにかかる時間が異なるという事で、３台目を考えた方が良いのか、どのようなルートを考えれば解消されるか。単純に考えれば、もう２台増やせばという事になるが、経費が倍になってしまう。３台でうまくルートをリセットして考えられないかと思っている。
- ・アンケートについては、予算が多くなるようにという事で、どこまでできるかわかりませんが、内容をあらためて検討していく。

- ・プラチナカード等のご提言ですが、どの程度のニーズがあるのか、実現性や実効性含め、1つのアイディアを頂戴した。少子高齢化で高齢者が確実に増える。今までは停留所の要望が無かった地域も要望するなど、ニーズの変化が多様化してくる。今後も変化していくと思う。町民の大切な足として、上手く有効活用できるような仕組み、新しい方向性を見据えながら検討していきたい。
- ・常滑市の会議は毎月 28 日に開催されると聞いている。そこで決定となれば、武豊町の議会には 7 月 3 日の行政報告会がありますのでそこで報告した後に、マスコミにも報告するなどしたい。せっかく走るの、皆さんに喜んで使っていただければと思う。
- ・町民の利便性、安全性を主眼に置きながら、計画を練り上げて参りたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。本日はありがとうございました。

○司会（田中課長）

- ・次回「第 48 回武豊町地域公共交通会議」は令和 6 年 12 月上旬に開催する予定です。詳細等につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしくお願い致します。
- ・以上をもちまして「第 47 回武豊町地域公共交通会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上